

平成26年度第1回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

| | | |
|------|--|---|
| 開催日時 | 平成26年12月2日（火） 午前10時から正午まで | |
| 開催場所 | 高知県高知市本町5丁目3番20号 高知共済会館3階 藤の間 | |
| 出席者 | 委員会 | 高知県 |
| | 甫喜本委員長 稲田副委員長 近藤委員 坂田委員 村瀬委員 山本委員 渡邊委員 | 奥谷土木部長 田所土木部副部長（総括） 平田土木部副部長 吉村土木技術監 兼建設検査長 今西建設管理課長 |
| 議題 | 1 開会 （1） 土木部長挨拶 （2） 委員紹介 2 委員長及び副委員長選任 （選任結果） 委員の互選により、甫喜本委員が委員長に、稲田委員が副委員長に選任される。 3 議事 （1） 委員会の運営について ・所掌事務 ・その他 （意見なし） （2） 制度概要説明について ・入札・契約制度 ・談合対策 （意見等については別紙のとおり） （3） 次回開催について （意見なし） 4 その他 5 閉会 | |

| 意見・質問 | 回答 |
|---|---|
| <p>個別の入札案件の審議については、契約の締結に加えて履行についても、適正に施工されているかを監視していく必要があるのではないか。</p> | <p>履行については発注者の監督職員による監視もあり、また、契約に基づいて対応すべきところである。</p> <p>まずは契約締結が適正に行われているかという監視を行い、そのうえで不十分であると分かった場合に、履行の部分の評価方法の検討を考えたい。</p> |
| <p>入札案件を審議する際には評価項目のようなものが必要なのではないか。案件ごとの品質や安全面、労務賃金については下請けへのしわ寄せがないか、発注者の行政コスト、また、発注者として公では言いにくいところもあるかもしれないが、予定価格が適正に設定されているかどうか等、これらのことを評価していくことが重要ではないか。</p> | <p>予定価格の適正化については、平成 26 年 6 月 4 日に公布・施行された公共工事の品質確保の促進に関する法律の改正法の中でも、発注者の責任として、受注者の適正な利潤の確保及び予定価格の適正な積算が求められている。これは高知県だけでなく、市町村にも求められている。これから抽出案件を審議していただく中で、適正な予定価格であるかという点についても審議していただきたい。</p> |
| <p>談合のことを踏まえると、業界の状況は刻々と変わるため、ある程度スピード感のある審議が必要だと思うが、審議の対象となる入札案件はどうなるのか。</p> | <p>来年度の上期に本課又は土木事務所が発注した案件を対象としたい。できるだけ、最新の入札案件を審議していただきたい。</p> |
| <p>今年の大雨の災害対応は大変であり、ぎりぎりの状況だったと業者から聞くが、今後も災害対応は凄く重要になってくる。台風等の大規模な災害が発生した場合、随意契約での発注が多いと思うが、緊急時の入札・契約の際、これらがきちんとできる状況であるか把握しているのか。</p> <p>緊急時の入札・契約状況も委員会で確認し、今後の課題を把握することが大事ではないか。</p> | <p>災害時の応急活動については、基本的に年間維持委託している建設業者を中心に緊急発注を行っている。例えば、土砂崩れが起こった場合等の応急の工事は、緊急発注で行う。その後、落ち着いたときに災害査定等を受けて、災害復旧工事の発注を別途行う。</p> <p>緊急発注工事の随意契約についても、調査対象として抽出、審議ができるか検討する。</p> |
| <p>談合について、投資が上昇しているときと下降しているときでは発生している問題は違い、状況に応じた危機感を持たなければならない。今は公共投資が増え、不調・不落の増加や労働者不足が生</p> | <p>談合は非常に大きな問題であり、高知談合については、国土交通省職員が懲戒免職になったという厳しい状況である。</p> <p>コンプライアンスに関して、県は建設業者に研修を行い、また、県職員及び市</p> |

| | |
|--|--|
| <p>じているが、これがまた減少に転じると、企業経営が苦しくなり、談合の誘引性が高まる危険があるのではないか。そのため、談合をさせない仕組みや雰囲気を高知県全体で作り出していくことが必要であると思う。建設業界の状況や業者の経営状況等も、県で把握しているものがあれば委員会でも共有し、談合のリスクが高まるときには我々も含めて全体で見守っていくような審議も必要ではないか。</p> | <p>町村職員に対しても、高知談合の背景を含んだ内容の研修を行った。これは来年以降もやっていきたい。</p> <p>併せて、各建設業者に対しては、単に研修会に出席するだけでなく、研修で得た内容を、自社で発表や勉強会を行うなどの情報共有をして欲しいという要望も行っている。</p> <p>建設業界の状況については、県内の建設業者との意見交換の中で経営が厳しいという話を聞く。データで建設業者の状況や工事ごとの状況を把握する方法を模索し、そのうえで発注者として何ができるのかということは検討していきたいと思っている。</p> |
|--|--|